



鵜三小だより

学校の教育目標 美しい心で、力いっぱいやりぬく子

第3号 令和4年 5月31日（火）発行

鵜三小オリンピック

校長 岩井 隆史

前回の学校だよりで、「鵜三小オリンピック」について触れました。児童会の全校スローガン
仲間と全力で取り組み、成長できる楽しいオリンピックにしよう。
のもと、各学年で事前の取組や種目の練習に励んでいます。

- 【1年生】さいごまで みんなでちからをあわせて、えがおいっぱい うさんしょうおりんぴっくにしよう。
- 【2年生】みんなと きょう力して さいごまであきらめず えがおいっぱい たのしいオリンピックにしよう。
- 【3年生】全力をつくし、はげまし合って、楽しい う三小オリンピックにしよう。
- 【4年生】仲間と協力し、声をかけ合い、心から楽しめるオリンピックにしよう。
- 【5年生】仲間と一緒に、一歩前進。
- 【6年生】仲間と団結し、笑顔あふれるオリンピックにしよう。

先週の練習では、他学級の仲間も応援したり、上級生が下級生の休憩時の様子を見守ったりする姿がたくさん見られました。当日、「自分たちの記録を伸ばせた。」「学級の仲間に応援してもらって嬉しかった。」など、学級や学年の仲間への安心感を味わえることを願っています。（5/30 執筆）

第1回緑陽中学校区 学校運営協議会が開催されました

緑陽中学校区 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、学校・家庭・地域の三者が一体となって、子どもたちのよりよい成長に資することを目的に、令和2年度に設置されたものです。

本年度は5月23日（月）に、本校において第1回の会が開催されました。自治会代表の方や主任児童委員の方、保護者代表の方（PTA会長様）と共に、学校運営協議会の趣旨の共有を図り、本年度は本校でも大切にしている「挨拶」を中心に取り組むこととなりました。また、各校の経営構想の承認をいただきました。

各務原市の学校運営協議会は、中学校区単位で設置されていますので、義務教育9年間を通した子どもの育ちを考えられることがよさと考えます。今後も、意見を交流しながら取り組んでいきたいと考えます。



今年も始めました「今日のちょっといい話」

令和2年度、新型コロナに係る様々な制約によって不安を感じている子どもたちに、「何か自信をもたせてあげられれば…」と思う中で始めた「今日のちょっといい話」を、本年度も始めました。

子どもたちのひたむきな姿や、人を思いやる姿に出会って感じた「美しい心」を、昼の放送で、放送委員会の子どもたちに紹介してもらっています。地道ではありますが、この取組が、児童会スローガン達成の一助になればと願っています。

【5月16日 第3話】

先週、6年生の子たちが、体育館でスポーツテストのシャトルランに取り組んでいました。私が見始めてしばらくして、ある仲間が走り終わりました。待っている子たちから、自然に拍手が起きました。またしばらくして、2人目の仲間が走り終わりました。今度も拍手が起きました。その後も、誰かが走り終わる度に、自然に拍手が起こるのです。6年1組でも2組でも、同じように拍手が起きました。

私は、その拍手に、仲間の頑張りを称える「美しい心」を強く感じました。中には、もっと記録を伸ばしたかった子もいたでしょう。目標にした回数に届かずに、くやしい気持ちだった子もいたでしょう。けれど、体育館は、本当に温かい拍手に包まれていました。私が同じ学年の子だったら、「自分は大丈夫なんだな」と嬉しくなります。

今年の「鵜三小オリンピック」の6年生のスローガンは、「仲間と団結し、笑顔あふれるオリンピックにしよう」ですね。みなさんの拍手を送る「心」と「姿」に触れ、きっと、笑顔のあふれる鵜三小オリンピックになるだろうと期待しています。

